

柴崎ロック岩登り報告

【日時】 5月13日（日）

【天候】 曇りのち雨

【行程】 千葉駅→関越自動車道花園 IC→柴崎ロック→山逢の里キャンプ場
→帰葉

【参加メンバー】 狩野(CL)、松本(SL)、時田、山本、上荒磯、飯田(記録)

【内容】 曇り空の千葉を出発し、渋滞に巻き込まれることともなく関越道花園 IC で降り目的地を目指す。が、目印にしていた公民館の所在地がはっきりせず行ったり来たり。途中親切なおばちゃんに道を教えてもらい林道入り口から5分程で到着。駐車スペースまでの道は落石があちこちにあり注意した方がよさそう。

林道横にあるマッターホルン状の目印の岩から藪っぽい道を降りていき、岩場を目指して歩く。近くに岩場があるような雰囲気はまるでなく到着した時にはよくもまあこんな所に岩場を見つけたものだと感心してしまった。全国にはまだまだ知られていない岩場があるのかも。

簡単に柴崎ロックを説明すると、ちょっと調べたところルートは21本。縦に短く横に長い岩場で、グレードは5.8~5.13。石灰岩でできていて、やや滑りやすい感じの初級・中級向けのコースだそうです。本当かよ！

21本のうち自分たちがトライしたのはミゾー1(5.9)、うまいぞギンナン(5.8)、エントツ(5.9)の3本。最初にトライしたのはミゾー1。

リードを山本さんに努めてもらったのち挑戦開始。端から見ると高さもなく登りやすそうに見えたのだがこれが意外と難しく、登りやすい態勢が取りづらいこともあって1/3程登ったところで力尽き敗退。

山本さん、松本さんは柔軟な体を生かして綺麗な姿で登り切り、狩野さんはあり余った体力でパワフルに完登しました。いやあ〜、すごい！

納得がいかず再度チャレンジしたものの結局登り切れず悔しい思いをしました。「クッソー、覚えているよ、ミゾー1！」。

2本目にトライしたのがうまいぞギンナン(5.8)。ミゾー1に比べると見た目に手掛かり足掛かりも多くて登りやすく、若葉マークの上荒磯さんと自分でも時間はかかったもののどうにか完登できました。正直嬉しかったです。

最後にトライしたのがエントツ(5.9)。ポケット状のホールが沢山あり指を掛けることはできても足を置くことができず悪戦苦闘の連続。どうにか粘ってテラスまではたどり着いたものの、その上は歯が立たずあっさり白旗。

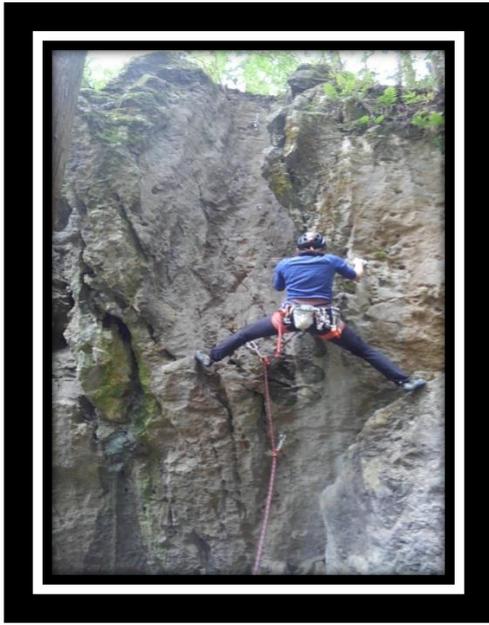
3本目を終えた14時ころから雨が降り出し始め撤収開始。新歓予定のキャンプ場を下見して帰葉となった。

今回の岩登りでぶっつけ本番ではこれが限界で、自分の力量の無さを思い知らされました。さて、この悔しさをどうするか・・・。



目印のmatterホルン状の石

格闘前の集合写真



ミゾー1にてリードの山本さん



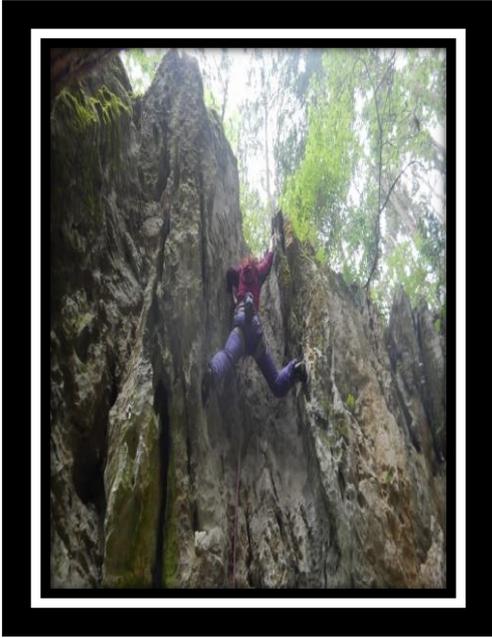
うまいぞギンナンです



ミゾー1、難しかった。



奮闘中の時田さん



松本さんの足使いです。
自分にはきつい！



テラスで一息の狩野さん